

## 試合終了・・・次に向けて

編集：山本広報・尾形強化スタッフ

平成27年7月22日(水)

### 【タイムスケジュール】

8時	ホテル出発
8時半	練習
9時半	試合開始
	昼食・試合観戦
15時	ホテル着
	トレーニング
19時	夕食・ミーティング

### 【スタッフの所感】

梶下選手の相手選手はフットワークが素晴らしく、現役選手なので試合勘とフットワークがよく、梶下選手のフラットに対してスピンドで上手く返球し、チャンスがあればバックに深くストロークし、その次にドロップと上手く考えていました。梶下選手の練習が万全なら、振られたボールに対して、ぶれることなくフラットでコースをつけたでしょうが、中々そのボールがコートにおさまらなかったです。追い込めるボールをミスしていたので残念ですが、よく頑張っていました。

選手たちと話し合って、明日は他国の選手と練習する予定をたてました。色々と練習相手を探して練習するつもりです。

### 【試合結果】

男子シングルス3回戦

●梶下 怜紀 0-2(1-6.0-6) ○Egor Panyushkin(ロシア)

### 【選手レポート】

報告:①種目 ②対戦相手 ③試合結果

コメント:①頑張ったこと ②反省 ③今後への課題

#### ★梶下 怜紀

##### 報告

①シングルス

②シングルス Egor Panyushkin(ロシア)

③1-6.0-6

##### コメント

今日は風があまり強くなく、試合前の準備もしっかりできた。相手選手は、立体的に幅広くプレーをしており、攻めていくことがあったのはよかった。

難しかったが、相手の球に対してしっかり打ち切れたところが今回の試合は、要所で攻めきれなかった点が今後の課題であると感じた。

今回の相手は、コートを広く使って試合をしてきた。現役選手との差を改めて実感させられた試合であった。



ロシアのEgor Panyushkin選手と記念撮影

## 試合無し 観戦レポート:①種目 ②選手名

### ★鈴木裕将

- ①シングルス
- ②梶下怜紀 VS Egor Panyushkin(ロシア)

全体的にミスが多い試合だった。相手のミスがないプレーにプレッシャーを感じたように見えた。  
なかなか決められず、相手のカウンターショットが冴えていたため、相手のペースに持ち込まれた。  
梶下選手が、低めの軌道を打ったトップスピンボールを両サイドに打ち分けてフラットボールを交ぜて緩急をつけるなど戦法を変えて、相手を揺さぶりかけて自分のペースを持ち込み、相手にプレッシャーを与えたことも参考になった。

### ★榛地英征

- ①シングルス
- ②梶下怜紀 VS Egor Panyushkin(ロシア)

ストローク力は互角の勝負だったが、ロシアの選手はディフェンス力が高く、要所でのドロップショットが冴えていた。  
そこがスコアに表れた試合だったと思いました。  
あとはウイニングショットの精度がロシアの選手の方が高かったように思いました。  
要所でもポイントの取り方がすごく効果的で、参考になりました。

### ★山口華恵

- ①シングルス
- ②梶下怜紀 VS Egor Panyushkin(ロシア)

ラリーはほぼ互角だったが、ロシア選手のディフェンス力が高く、フットワークの調子が冴え渡っていた。  
追い詰められながらも、見せたドロップショットなど多彩なテクニックを使い、ここぞという時の集中力と精度が最も高かった。このような状況の中で、梶下選手がゲームの流れを変えるため、フラットで打っていたショットをスピンも混ぜ、高さも出し始めて相手に攻撃のチャンスを与えない戦術を取り入れ、相手の優位を崩そうとしていたことがとても参考になった。

本日で、日本選手の試合は全て終了しました。  
皆様、温かいご声援ありがとうございました。

明日からは、試合観戦、練習・・・次に向けて、さらに多くのことを吸収してきます！



Egor Panyushkin選手と試合中の梶下選手